お祭り特集号
やわたコミュニティ

第９５号
平成28年11月30日
発行　八幡コミュニティ
責任者　寺島康夫　TEL 33-3230
印刷　八幡コミュニティ
編集　総合管理本部

八幡のまちのお祭り
10月9日（日）盛大に挙行

復活！屋形を担ぐ

昭和の中ごろまでは、青年団の若者が屋形を担いで八幡神社へ集結していました。

活気あるお祭りを再現しようと、拝殿までの参道を修復中の中小根の屋形を担いで進む試みが行われました。あいにくの小雨対策でビニールシートを被せての試行でしたが、屋形本来の雄姿が彷彿と思い起こされました。

豪華絢爛？自慢の飾り車　笛と太鼓で祭り一色

≪堀之内≫

祭りを盛り上げた、堀之内役員一同による打ち込みです。

≪廻　間≫

明日は八幡神社へ打ち込みに行きます。

≪中　島≫

午前中の雨も上がり、中島の屋形の前で笑顔いっぱい、楽しい八幡のお祭りになりました。

≪中小根≫

50年ぶりに屋形が鳥居をくぐる　。

≪西平井≫

お天気に振り回されましたが、無事に試楽/本楽を終えることができました。

≪荒　井≫

一致団結、荒井公会堂での一幕。

≪荒　古≫

幕場での一幕。

≪浜小根≫

祭囃子愛好会メンバーによる天白社での打ち込み、全てナマ演奏です。

≪八幡新町≫

神輿渡御巡幸の大役を終え、ホッとしました！

≪上平井≫

晴れの舞台に相応しい装飾で、天白社へ巡行しました

≪杉　山≫

八幡神社　杉山幕場にて
八幡神社部隊の皆さんで記念写真をとりました。私たちの気持ちも「雨から晴れへ！！」
杉山公会堂留守部隊の皆さんもご苦労様でした。

≪寺本新町≫

明け方の強い雨も上がり、太鼓の音と共に子どもやお祭り有志の方の元気な声が町内の秋空に響き渡りました。

≪寺本台≫

子供も大人も一つになって町内練り歩き、地域の伝統行事神幸祭へも参列でき、有意義な一日でした。

八幡のお祭りが中日新聞で大々的に報道

平成28年10月10日付の朝刊

みこしや屋形巡行　知多

知多市八幡の八幡神社祭礼が九日、神社一帯であり、華やかな飾り車などを引き連れた氏子総代や地区の代表らによる神事に続き、八幡神社から近くの天白社を目指す巡行がスタート。みこしを先頭にのぼり旗の一群や子どもみこし、飾り車などの一行が、にぎやかな祭りばやしを響かせながら一帯を練り歩いた。

巡行には、江戸時代後期の制作以来となる全面修復を済ませた祭事具「屋形」全四台もそろって参加。文化庁の補助金などで破損部分の修繕や装飾を施し、きらびやかさを増した四台が祭りに花を添えた。（長谷部正）

八幡神社一帯を巡行する屋形＝知多市八幡で

八幡のお祭りは近隣の華やかさに比べて、あまりにも目立たない存在である。

ところが今年は、八幡の各地域が保有している四台の屋形が注目され、新聞記事になった。

およそ一八〇年前に製作され、それ以来はじめてとなる全面的な解体・修復により、貴重な文化遺産としての価値が明らかになったためである。八幡住民にとってこの記事が、先祖の残した郷土の財産を保存・伝承することの大切さに気付いてもらう、よい啓発材料になってもらえればと願っている。

十月九日付の「知多半島　宝モノ語り」は記事の量が多く、とてもこの紙面では紹介しきれないので、見出しのみにとどめた。

平成28年10月9日付の朝刊

ふるさと検定　八幡塾≪探訪考証編≫
平成28年度メインテーマ

郷土の伝統・文化を学ぶ

住民参加・住民が主役、ふるさとの素顔を記録

八幡の伝統・文化記録事例

（問合せ先）事務局　平松正毅　TEL 32-1019

一〇月一六日　青峯観音祭（荒井）

三世代交流　グラウンドゴルフ大会

一〇月三〇（日）八幡小学校のグラウンドで、十三地域から各二チームが参加して、三世代交流のグラウンドゴルフ大会が開催されました。

みなさん和気あいあいながらも、内に秘めたる闘志を燃やし、一喜一憂の熱戦でした。

成績は〈優勝〉荒古B、〈準優勝〉八幡新町A、〈三位〉八幡新町B、入賞おめでとうございます。また、高齢者六名、大人三名、小学生二名の計十一名の方がホールインワンを達成されています。